

仲間とつながり 大きな力

陽光園

陽光園では、平成30年9月現在60名の方が登録されています。利用者

者の皆さんは、館林市、邑楽町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町と広範囲にわたり登園しています。一日が利用者さん

にとって充実した一日となるよう、一人ひとりに役割があり活躍の場があり、落ち着ける居場所がある、そんな園生活がおくれるような活動を目指しています。

日中活動では、東京メトロ・警視庁職員宿舎の枕カバー伸ばしを行っています。全ての工程を一人でを行うのではなく、出来る人が出来るところまでを行い、検品・仕



また、ダンボールの組

み立て作業では、材料を足元の不安定な利用者さんへ利用者さん自ら運んであげたりと、お互いを思いやるほのぼのとした様子がみられています。また、分別作業では、剥がしやすいように小さめにカットしたりする事で、作業が出来る

た喜びや達成感を得る事で次のステップにすすみ大きな力となり、「出来たよ！」と自信に満ちた笑顔を見せてくれます。

職員手作りの工夫を凝らした治具作業では、集中して取り組んでいる姿もみられます。

園外活動では、作業を頑張っで行いマイクロバスで気分転換や、少数でのプチ山登りでの体力発散や自然との触れ合いなど行っています。



また、地域の公園や公共施設の体育館を利用

して体力保持のための散歩や軽運動など無理のないよう利用者さん一人ひとりにあったペースで行っています。公園内を散歩することによつて、地域の人たちとの挨拶も自然と「こんにちは」と笑顔を見せています。

園外活動では、作業を頑張っで行いマイクロバスで気分転換や、少数でのプチ山登りでの体力発散や自然との触れ合いなど行っています。



『からふる』で作っているパンやクッキーを館林市内や邑楽町内の保育園へ『おやつ』として配達の仕事もしています。そして、川俣駅の『メイちゃん家』にも毎週木曜日に楽しみの一つとして配達に行っています。

配達先の方からの「ご苦労様です。暑かったでしょう」と声をかけられると、思わず笑顔になり「頑張るぞ。」と活動意欲とつながります。

一人ひとりが持っている力が大きな力となり、成功体験を積み重ね自信へとつながる事。得意な事をひき伸ばし、『できる』事を見つけていきながら園での仲間との生活が楽しく充実した場所になって欲しいと思います。



生活支援員
勤続17年 齋藤 典子